

まちづくり懇談会議事録

日 時：令和3年11月11日（金）17：54～19：15

場 所：南角田公民館

出席者：7人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配付資料確認および日程説明

3. 懇談

(1) 第7次総合計画の策定について（別紙1・2参照）

(2) 自由懇談

4. その他（情報提供）

(1) 国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（別紙3参照）

(2) ゴルフ場関係

5. 閉会

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：栗山駅前交流拠点施設の開設と管理運営の事だが、始めは町で運営して、あとは民間に委託するようなことが書いてあるが、内容としては、例えば特売場を併設するとか、まちなかレストランというのは、町外の人を集めて何かするようなレストランということではないのか。

町長：施設の管理の仕組みについて、今これができる、ここでやるという最低限、基本的な事業の内容は、多目的ホールや総合案内、DIY 工房などを担い手の方々にやっていただく。その他にも、あれだけの施設が敷地にあるわけだから、物産展とか、農産物の販売だとか、直売所なども取り入れるようにしたらどうかというご意見がありましたので、これから検討していくという事になるので、そのための新しい組織を作る。これだけじゃ黒字化はできませんから、もっと新たな事業展開を当然考えて行かなければならない。これから5年間ほどは町が直接運営をしていきます。町費の投入も当然あります。令和8年を目途に新しい組織か法人ができた時には指定管理ということですから、施設の維持管理費は当然町が払います。さらに、FM 局は災害時の情報発信、町民の方への情報発信の拠点となりますので、そこに対する事業費の支援も行います。それ以外については、やはり新しい法人が自立をして、やっていただく。いろんな事業をやる仕組みになります。まちなかレストランは今、駅前の店舗の元地域おこし協力隊の人が作った café&bar くりとくらがあります。そこで日替わりで町内・町外の方が来て、食事を作って提供しているんです。今はレストランをこの交流拠点の施設の方に、間借りしてやっているような形ですから、

もう少しいろいろな方を応募してやっていきたい。これも新たな収入源になると思う。

町民：結構車に乗るのが好きなので、いろいろなところを見て歩くんですけど、美瑛町は観光で有名なところなんです。駅前を道の駅にしている、お客さんがシーズンになったら来ているんです。交流拠点施設という名前にするんじゃなくて、道の駅とかにできないのかなと、ふと思ったんです。道の駅にすればスタンプラリーがあったり、トイレがあったり、南側の方は駐車場も結構広いですよ。だから、栗山の道の駅って名前にした方が宣伝もしやすいんじゃないか。後、直売所などを併設しても、栗山の道の駅という名前にすれば、例えば仲間内で野菜売ったりもできるだろうし、難しい名前じゃなくて、ただ単に栗山の道の駅ですよとって、北海道の人に発信した方が、栗山に道の駅ができたということにできないのかなとふと思った。当別町が、ものすごい道の駅ができてからお客さんが入っているし、増毛町に行く道も渋滞して、道の駅というだけでそんなに大きい施設じゃないのに、お客さんが入っているのを見ている。道の駅の方が宣伝価値としてはかなり大きいのではないかと。そっちの方が黒字化するのが早いんじゃないかと思うんです。錦地区の橋が直ったら、小林酒造を見に来て、ちょっと右に曲がればすぐにある。その方が集客もあるんじゃないかとふと思う。

町長：確かにそういう戦略とか情報の発信の仕方は分かります。直売など付随するものを持っていくとしても、道の駅とは少し一線を画す。また違う機能を持った、複合的な施設という位置付けをして、錦地区の方と一体的に賑わいの拠点としていきたいと考えています。ただこれから先、道の駅の別の構想もある。国道 234 号の拡幅の要望を 1 回国の方にさせていただいてる。これは平成 10 年から要望してきて、もう 23、4 年経っているんですけど、一向に進んでいないです。ただ、北海道開発局とすり合わせている整備手法があって、岩見沢から国道を来ますと、まず 1 番に駅に曲がる交差点がありますよね。そして、少し行ったら栗山公園から天満宮の方に曲がるちょっと狭い交差点です。大鵬のところの交差点。そして、栗山赤十字病院の方に曲がる交差点。三栗線に抜ける交差点。そして、栗山高校の近く。右折レーンがなく、追突事故などの危険な交差点が 7 つあるんです。いきなり改築ということになると予算がつかない。改築予算が今非常につきにくいので、交差点などの改良も交通安全対策予算でできる。まずはその交差点を拡幅改良して、最後にそれをつなげて四車線化するというのが、私どもと北海道開発局がすり合わせている要望戦略です。そのうちのひとつ、1 番最初の駅前に曲がっていく交差点には右折レーンがあるんだけど、ちょっと短いです。イベントがあったらすぐに渋滞してしまいます。まずはそこを拡幅するというので、27 年ぶりに調査設計費がつかしました。そうすると、また来年はその設計に基づく工事が行われ、北海道開発局の方からは、次はどこの交差点をやりますかと要望調査が来ている。我々としては、次は栗山赤十字病院の交差点、栗山赤十字病院の改築事業があるので、それと合わせて救急車が出入りしやすくなると思います。そういう順番をつけてやっているところです。かなり四車線化の実現が近くなってきたという感じがあります。これから計画とかいろいろ決めていかなきゃならないんですけど、前の計画では栗山公園球場の交差点にかかるんですよ。少年野球などを盛んにやっているの、別の方に移設をし、あそこの空いたスペースで道の駅ができたかどうかという議論がある。集客できる施設も、公園と一体的なものにする。栗山公園にある、いろんなアイスクリーム屋さんとか、ラーメン屋さんとか、そこの一角の方に移って、一体的に道の駅として整理をする。ただ一休みのために寄るところではなくて、そこに行く

と公園で遊ぶことができる1日滞在型の、他の町にはない道の駅ができる。そういう整理を構想している。

町民：とりあえず、早く進めた方がいいです。お金を稼がないといけない。

町長：道の駅と栗山駅南交流拠点施設のように、点と点を結びつけて、一方の集客をもう一方にもさせることで、町内にも波及させる風ができる。でも、道の駅はまだ先の話なので、栗山駅南交流拠点施設は道の駅という名前にしないまでも、いろいろな機能を持たせていきたい。

町民：栗山監督がいるというだけで、栗山のすごい宣伝になり、ふるさと納税が増えたという話を耳に挟んだことがあるが、栗山監督は退任された。仕事は今、特にないと思うんですけど、栗山にはまだ住んでくれているという話を聞いた。そのままにしておくのはもったいないと思うんですけど、例えば栗山監督にふるさと大使のような、オファーはしているんですか。看板、宣伝にはなるんじゃないかなとは思っています。優勝パレードも宣伝になっていたのでも、みすみす逃すのはもったいない。ただでさえ、宣伝費はすごくかかるのに、栗山監督が住んでる町というだけでも、全国に名前は出ると思います。退任したからもう栗山監督は終わった、というのではなくて、少しお金はかかるかもしれないけれど、何か考えていますか。

町長：決して監督を辞めたからということではなく、栗山町は栗山さんが監督になる前からの深い繋がりがありますので、我々としては、監督になってからの10年間は特に、まちづくりも含めて貢献していただいたと思っています。今、これから打ち合わせをしていきますが、感謝祭のようなものをまずはやりたいなと思っています。町としての感謝の気持ちを栗山監督にあらためて伝える場を作りたいなと思っています。今後のことですが、まだ私どもの方にも、栗山監督の処遇、これからどうしていくかという話が出ていないんです。人によると1年間はゆっくり休みたいという話です。ただ、単発的なお仕事はされるということも聞きますし、栗山さんに確認することも出てくると思うんです。その連絡はしていきたいと思っています。ふるさと大使は少し時期を見て、ふるさと大使にならないまでも、栗山町について絶大なPRをしていただきましたので、引き続き何かありましたら、私の方からもお願いしていきたい。

町民：基盤整備の事なんですけど、土地改良総合センターとはどんなことをしようとしているのですか。

町長：体制としては、町と土地改良区と農協の関係機関から人を出して、センターを作ってく。まだ、どこで作るか分かりませんが、例えば土地改良区の施設などでやっていくということです。道の事業主体ですから、町が進められる事業ではないけれども、道が進める事業のお手伝いというよりも、換地などはしっかりしたものになるかと思っています。道が実施主体としてやっている内容の一部を地元としてもう少し担っていくということです。道も人材がない中で、多くの事業をこれから15年ぐらいの間で、12、3の地区が道営事業を担っていくという、地元の方にもお手伝いをいただかなければ、なかなか事業がスムーズに進まないということで、そのような道からのお願いもありました。地元としてもしっかりやっていきたい。

町民：光ファイバーケーブルの工事の進捗は全然話が出ないですけど、どうなっているのですか。

総務課参与：スケジュールの関係を今、整理していますが、工事に南角田が入っているのか

分からないけれど、一応工事は今年度中で終わる予定になっています。そこから総務省に完成したという報告をして、その後、審査と報告がありまして、それが約2カ月ぐらいかかります。その後、光回線の受付の開始を町民皆さんに周知しまして、申し込みいただいて、いつから使えるかという周知をします。使えるようになるのは大体夏ごろ。

町民：総務省に検査を出すということは、例えば、ここまで線が来ましたが、だからこの人が先に使える、ということではないのか。

総務課参与：例えば、南角田の工事が終わりました。ではすぐに使えるのかというと、そうではない。栗山町全体の工事が終わって、総務省に報告をしてからという流れになっています。

町民：ということは、本当に使えるのは夏ごろ。

総務課参与：そうですね。多分南角田だったら、滝下から順々におりてくる。先月ぐらいにはもう滝下が終わっていました。継立から来るかもしれない。前回、説明会やった時には、工事自体は3月で終わって、春ぐらいから使えるという言い方をさせていただきました。そのスケジュール自体は変わってないんですけど、蓋を開けてみたら実際、総務省の届け出などが必要になってきて、例えば6月に審査の報告が終わってすぐに明日から使えるかということじゃなくて、6月1日から皆さんに周知して、7月1日から使えます。供与開始になりますという、プレスリリースをすることになります。全部終わってから引き込み線をまた別に工事しないといけない。

町民：それは各家庭での工事になるが、それもプレスリリースが終わってからのになる。みんなが手を上げたら順番になる。いつになるのか。

副町長：国の補助事業を使ってやっている事業ですから、国の精査が終わった段階で始まる。NTT以外の事業者もいるので、NTTだけで実施できないんです。1回精査された後で、一斉に栗山が開通したということで皆さんの契約をいただくという、公正に競争しなきゃならないという状況です。

町長：僕もがっかりしています。去年、この話が出てすぐ上京して、担当の総務副大臣のところに行ったりして、なんとか栗山を1番にお願いしたいと頼みに行ったんです。そうしたら予算は北海道の中でも早く獲得できたんですが、工事が補助事業でありながら、年度内でしっかり完了するって言ったら、もう繋げられるような状況になるということなんです、その状況がずるずると続いているものですから。

町民：子どもたちにオンラインにするとおっしゃっていましたが、中学2年生はもう卒業してしまう。仕方がないですね。

町民：既存の桜山の施設は、今後どういうふうにしていくのですか。

町長：令和6年の4月に新しい広域の施設が稼働するんです。その時に合わせて、生ごみの堆肥化施設は廃止することになります。生ごみも一般ごみと合わせて燃やすことになりますので、そういう排出の流れになるかと思えます。ただ、埋め立て処分場については、広域の埋め立て処分場が令和11年、今から8年後にできますので、それまでの間は栗山の燃やした焼却灰だとか、一般の中でも燃やせない部分、それは埋めていくことになるので、当分は今の埋め立て処分場を使います。

(町長情報提供、公金横領について謝罪)

町民：対策としては何かされていくんですか。監査を厳しくするとか。

町長：今、そういうものをチェックする機能をいくつか調べている。複数でチェック体制を取るなど、いろいろな方策をしっかりと、役場はこれだけのことをこれからやって、二度とこういうことが起きないように仕組みにしていくという事で、皆さんにも公表していく。9月の決算不認定を受けて、町の方ではこういった対策を取っていきますということを公表することになっていますので、二度とこういうことがないようにしっかりとやっていきたい。

町民：御園のゴルフ場の件なんです、鹿用のフェンスが奥の方にはないんじゃないかという話が出ていると思ったので、御園の方にも言われたと思うんですけど、ぜひとも今回はしっかりと、農業振興公社にも、鳥獣のことでフェンスを含めて対応してもらいたいと思います。

高間総括：御園のフェンスの関係なんです、かねてから特に入り口にフェンスが必要ということで、御園の中からも要望がありまして、農業振興公社の方や当時のゴルフ場の管理会社とも話し合いをしまして、入り口にフェンスをつけてもいいが、管理は地域の方でほしいということになった。ただ、今はお客さんが出入りしますので、そういった時には会社として、きちんとフェンスを閉めるという話し合いがなされました。フェンスについては新しい会社に引き継ぎをいたしまして、担当者の方とも話をして、フェンス、入り口の管理をきちんとしましょうという話になっております。

19：15 閉会